

令和7年度第2回尼崎市文化財保護審議会会議録要旨

1 日 時

令和7年7月2日(水) 午前10時00分～12時00分

2 場 所

尼崎市立歴史博物館 3階 講座室

3 出席委員

委 員	大 場 修
委 員	伊 達 仁 美
委 員	川 口 宏 海
委 員	長 谷 洋 一
委 員	綿 貫 友 子

4 出席した事務局職員

社会教育部長	橋 本 貴 宗
歴史博物館長	門 田 真由美
歴史博物館文化財担当学芸員	井 上 亮
歴史博物館文化財担当学芸員	新 里 遥
歴史博物館文化財担当学芸員	楞 野 一 裕

5 開 会

司会進行 門田館長

6 議 事 等

議事「令和7年度尼崎市指定文化財候補物件の調査について」を議題とし、「光厳上皇院宣」の調査を実施した。事務局から候補物件の概要を説明し、実物の調査を行った。候補物件については、各委員から質問や意見があり、事務局と以下のような質疑応答等が行われた。

- ・表具にされた時期については、現在の所有者は具体的に覚えていない。表具にする時にかなり天地が切り詰められたと思うが、それ以前からそうなのか分からない。
- ・表具にされる前どのように保存していたのか確認したところ、箆笥に入れてあったと聞いた。
- ・大炊御門家の資料があちこちに散らばっていると思うが、どこにどのようにあるのかはわからないのか。
- ・まとまって残っていないのではないかと思う。なぜ白井家にあるのかはわからない。
- ・白井家は伊丹市山田村出身とのことだが、家系をたどれば何かわかるのでは。
- ・特別な意味があつて伝来したとは考えにくく、市場に出たものを入手された可能性が高い。
- ・長年自宅で保管していたのか。
- ・はい。
- ・紙の大きさは、当時のものなのか。

- ・かなり切り詰められている。元々はもっと余白があり、本来は包み紙があり保管されていたと思う。
- ・寄託されている白井家の資料のうち中世文書はこれだけなのか。
- ・はい。近世文書で最古のものでも近世初頭で、目録をみたがこの資料に関わるものはなかった。
- ・市史などでこれまで紹介されていなかったのか。
- ・おそらく昭和 63 年の『地域史研究』(第 17 巻第 2 号)が初出。当時、尼崎で南北朝時代の古文書が出てきたと新聞記事になった。
- ・この資料と尼崎との関係は。
- ・大炊御門家の庶流の堀河家が杭瀬荘を所有していたというのが、他の資料の調査で明らかになった。また、本資料で「故内府」と呼ばれている冬信の庶兄にあたる氏忠が、現西宮市域の荘園を代々相伝していたこともわかっており、尼崎近郊の摂津地域には、杭瀬荘など以外にも同家領の荘園があった可能性が考えられる。
- ・光厳上皇に関しては、寺町の大覚寺に光厳上皇が誕生する時に、当時の住職琳海が祈禱を行い、光厳上皇の誕生について礼を述べた「西園寺公衡書状写」があり、尼崎とゆかりのある人物といえる。尼崎市域は公家や寺社の荘園が多く立地していることから、これら荘園の伝領過程を示す貴重な資料である。
- ・尼崎の中世を考える上で、非常に重要な資料である。個人蔵で、南北朝時代の古文書をもっている家はあまりない。寄託していただいているが、流出の可能性もあるため、指定して保護していきたい。
- ・指定文化財の概要について、市民の方が目にするため可能な限りルビを打ってほしい。
- ・説明なく資料だけみてもよくわからないが、この資料のバックに大きな歴史や物語があるので、それを示すようなわかりやすい紹介の仕方がよい。
- ・尼崎とのローカルな接点も大事だが、大きな日本史の流れの中の位置づけも伝われば、古文書のおもしろさが伝わると思う。必ずしも尼崎市との接点にこだわらなくてもよいと思う。文章に工夫をしてもらいたい。
- ・大きな日本史の流れの中、光厳上皇がどのような政治的活動をおこなっていたのかわかる歴史資料なので、大炊御門家との関係も大事だが、ストレートに光厳上皇との関係を表現してもよいと思う。
 - ・古文書の価値としては、尼崎市に伝わっていること、それ以上に光厳上皇の院宣の証文ということ、さらに市内の個人が所蔵しており、市域の所領にかかわる相伝の一端を示していること、3 つほど重要な点がある。どこに伝わってようが歴史的価値があり資料として重要なので、市と関係ないからと扱うのではなく、重要なものが市内に所蔵されていることを大切にしないといけない。

以上の質疑や議論を踏まえ、委員長が「光厳上皇院宣」を尼崎市指定文化財すべきである旨の答申をとりまとめることについて諮ったところ、異議が無く、参加委員の了承が得られたため、次回の第 3 回審議会で答申文の作成を進めていくこととなった。

7 報 告

(1) 尼崎市文化財保存活用地域計画について

パブリックコメントの結果についての報告と、令和7年6月3日に開催した第6回協議会の結果について、協議会でいただいた意見への対応を報告し、尼崎の歴史文化の特徴、素案を提示し意見をいただいた。

8 そ の 他

令和7年度夏季展覧会について

以下、令和7年度開催の夏季展覧会についての紹介を行った。

- ・第15回企画展「すごろくで時代めぐり—遊びから見える人々のくらし—」
- ・第15回企画展同時開催「近年の発掘調査成果パネル展」
- ・あましん×れきはくコラボ展 「にっぽん博覧会ものがたり 後期・現代編」
- ・兵庫県立人と自然の博物館巡回展「価値の手直し展」

以 上